

河川再生に関わるモニタリング活動アンケート 趣旨説明書

趣 旨

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では、河川再生に関わるモニタリング活動の更なる推進に向け、「PRAGMO—河川及び氾濫原再生の順応的管理に向けたモニタリングの手引き」の日本語版を昨年11月に発行しました。また本年は、PRAGMO日本語版の普及と合わせ、国内の河川再生に関わるモニタリング活動*の現状や課題を共有するため、「河川再生に関わるモニタリング活動事例集(仮題)」を作成することとなりました。

そこで、本事例集の作成に当たり、日頃から河川環境の改善に尽力される皆様へ、河川におけるモニタリング活動に関わるアンケート調査を実施させていただきます。なお、本事例集の作成は、(公財)河川財団の河川整備基金の助成を受け、JRRNが公益を目的に企画・実施するものです。

※本アンケート調査で対象とする河川再生に向けたモニタリング活動の具体例については裏面をご参照下さい。

回答結果の活用とアンケート協力者への御礼

ご回答頂いた内容をJRRN事務局で集計・分析後、その結果を「河川再生に関わるモニタリング活動事例集(仮題)」(2013年12月頃発行予定)の中で匿名でご紹介します。また、集計・分析結果とは別に、(希望団体については)全国のモニタリング活動事例として、アンケート回答結果の一部を、活動状況の写真等とともに団体名入りでご紹介させていただきます。

なお、アンケート調査にご協力頂きました各団体には、事例集の印刷・製本版2部を謹呈致します。

アンケート調査の方法

各団体に本調査票を郵送させて頂いた後、お電話にて趣旨説明とアンケート調査への協力のご依頼をさせていただきます。その後、調査にご協力頂ける団体の関係者に回答して頂きます。

記入の仕方

- ①選択式の質問については、各設問横の選択方法に従い、該当するものを選択(○を記入)して下さい。
- ②分からない、回答できない場合は、お答えせずに次の質問に進んで頂いて結構です。

記入したアンケートの返送方法

※アンケート送付〆切： 8月18日(日)

アンケートに回答をご記入後、同封の返信用封筒で送付願います。電子メールでの送付も可能です。
(【質問1】及び【質問4】については、必要に応じ関連資料も合わせて同封して返送して下さい。)

問合せ・回答結果の送付先

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)事務局 担当： 後藤勝洋・和田彰
〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 新川中央ビル7階 (公財)リバーフロント研究所内
Tel: 03-6228-3862 E-mail: info@a-rr.net

～本調査では次の様なモニタリング活動を対象としています～

このアンケートでは、次の3つのすべて、もしくはいずれかに当てはまる河川における各種調査（＝河川再生に関わるモニタリング活動）を対象としています。

- ①（目的） 河川環境の再生・保全の変化や効果を把握する（＝評価する）ための調査
- ②（対象） 河川環境の再生・保全に向け、明確な測定対象（ターゲット）を有している調査
- ③（継続） 継続的に実施している調査

以下の具体例をご参考に、皆様が取組む活動について、アンケートにお答えください。

（河川再生に向けたモニタリング活動の具体例）

・【水質調査】

地域が目指す水質目標の達成度を把握するため、川から採水して水温や COD（化学的酸素要求量）をパックテストで毎年定期的に測定し、水質の変化を記録している。

・【川の形状変化の観測】

新たに設置された護岸が周辺に及ぼす影響を調べるため、川の様子を定点撮影し、またある地点の土砂の量（堆積・侵食）を簡易的に記録し、その変化を継続的に調べている。

・【アユの遡上調査】

魚類の上下流移動を回復するために設置された堰の魚道の効果を調べるため、漁業組合と連携してアユに標識を付け、アユの遡上調査を工事前後に実施している。

・【外来種の繁茂状況調査】

外来種であるアレチウリ駆除活動を地域の子供たちと年一回実施し、アレチウリの生息分布状況を定期的に調査し、繁茂状況の変化を記録している。

・【地域固有種の生息調査】

水辺に生息する地域固有種の保全を目的に、定期的に地域固有種の生息状況を調査し、その数や分布の変化を記録している。

※この他にも、様々なモニタリングの目的、対象（水量・川幅・底生動物・鳥類・両生類・爬虫類・哺乳類・昆虫類 etc.）、またそれらの調査方法がありますので、上記は一部に過ぎません。

河川におけるモニタリング活動の必要性は認識しつつも、様々な課題（専門知識・技術、資金、要員、関係機関連携 等々）から、各現場では理想と現実のギャップがあるかと思えます。

本アンケート調査には、順調に進められているモニタリング活動の成功ノウハウの共有はもちろんのこと、どのような制約から十分なモニタリング活動ができないかの原因を掘り下げ、その解決策を見出す狙いもあります。

上記で示したモニタリング活動の具体事例を参考に、こうした活動の一部でも取組まれている皆様の生の声を、本アンケート調査を通じてお聞かせいただければ幸いです。

河川再生に関わるモニタリング活動アンケート 回答用紙

【質問1】団体のプロフィールを教えてください

モニタリング活動のみならず、あなたの団体が取り組む活動全般の概要についてお答えください。

※【質問1】については、具体内容が分かる既存資料をご提供頂ける場合は、個別に回答頂かなくても結構です。（関連資料はアンケート回答用紙と合わせて返信用封筒に同封下さい）

・団体の名称：

・団体の所在地（市町村まで）：

・団体の設立年代： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

年代	1960年以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
----	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

・団体の活動目的： ※活動理念や使命などでも結構です。

・団体の主な活動内容： ※関連する活動をすべて選択し、○をつけて下さい。

活動例	河川美化（清掃）	維持管理（草刈）	水質保全・浄化	水質調査	水生生物調査
	自然生態保全	自然再生	植樹・植栽	川の学習	歴史・文化継承
	利水・節水	治水	まちづくり	観光促進	生活改善
	福祉	スポーツ	環境教育	社会啓発	コミュニティ活性化
	流域連携	官民連携	企業連携	国際協力	その他
その他	（キーワード）				

・団体の会員数： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

人数規模	1-10人	10-30人	30-50人	50-100人	100-200人	200人以上
------	-------	--------	--------	---------	----------	--------

・主な活動フィールド（水系名 及び 河川・湖沼名）：

水系名		河川・湖沼名	
-----	--	--------	--

【質問2】 過去において実施したモニタリング活動の概要を教えてください

これまで（実施中も含む）どのようなモニタリング活動を実施したことがあるかを教えてください。

- ・モニタリング活動の概要： ※複数の活動がある場合は、活動毎に概要を記述して下さい。

--	--

【質問3】 モニタリング活動を始めたきっかけや実施体制について教えてください

【質問2】でお答え頂いたモニタリング活動の経緯や実施体制についてお聞きします。

- ・モニタリングを始めた時期（開始年代）： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

開始時期	1960年以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	複数あり
	（複数のモニタリング活動がある場合は、活動毎に記述して下さい）							

- ・モニタリングを始めたきっかけ（モニタリングを行う背景や理由）：

--	--

- ・モニタリングで連携する団体の有無と名称： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

連携先	河川管理者（国）	河川管理者（都道府県）	河川管理者（市町村）	河川管理者以外の地元自治体	学校
	他の市民団体	企業	研究機関 専門家	連携なし	その他
具体名称	（具体の行政機関や団体名を記載して下さい）				

- ・河川管理者の関与（連携）の仕方： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

内容	活動資金一部支援	調査機材支援・協力	専門知識の助言・指導	協働作業	調査業務委託	連携なし	その他
具体記述							

・河川管理者以外の連携状況：※具体的な連携内容について記述して下さい。

具体 記述	
----------	--

・モニタリングの実施頻度（1年間での平均回数）：※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

実施 頻度	数年に1回(年1回未満)	年1回	年2回	年3~6回	毎月	複数あり
	(複数のモニタリング活動がある場合は、活動毎に記述して下さい)					

・モニタリングの参加人数（1回の平均的人数）：※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

参加 人数	1-10人	10-30人	30-50人	50-100人	100-200人	200人以上	複数あり
	(複数のモニタリング活動がある場合は、活動毎に記述して下さい)						

・モニタリングに要する概算費用（年間総額）：※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

年間費用	なし	1万円未満	1-10万円	11-50万円	50万-200万円	200万円以上
------	----	-------	--------	---------	-----------	---------

・モニタリングに要する費用の財源（調達先）：※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

資金源	自己資金	助成金	補助金	業務受注	その他
その他					

【質問4】モニタリング活動の具体的な内容を教えてください

【質問2及び3】でお答え頂いたモニタリング活動について、より詳しくお聞きします。

※【質問4】については、具体的な内容が分かる既存資料をご提供頂ける場合は、個別に回答頂かなくても結構です。（関連資料はアンケート回答用紙と合わせて返信用封筒に同封下さい）

・モニタリング実施計画（目的・対象・調査工程等）の有無：※あてはまるものを一つ選択して下さい。

計画の有無	自ら作成した 実施計画がある	河川管理者等が作成 した実施計画がある	実施計画はない	分からない
具体記述				

・モニタリングの対象（指標・ターゲット）： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

対象	水量	水質	ゴミ	土砂輸送(堆積等)	川の形状(川幅等)
	魚類	底生動物	植生・植物	鳥類	両生類
	爬虫類	哺乳類	陸上昆虫類	プランクトン	その他
具体記述	(COD、水温、透明度、外来魚、ホタル等の具体ターゲット名があれば記入して下さい)				

・モニタリングの方法（調査方法や道具）： ※以下の表を参考に実際に用いた方法を記述して下さい。

--	--

※参考： モニタリングで用いる現地調査方法や道具の一例

モニタリングの対象		現地調査方法や道具			
物理環境	水量	水位観測	流速測定	カメラ定点撮影	
	水質	パックテスト	透明度測定	目視観察	
	ゴミ	一斉清掃			
	土砂輸送	カメラ定点撮影	航空写真比較	堆積・侵食量測定	
	川の形状	カメラ定点撮影	航空写真比較	横断測量	
生物環境	魚類	網類	わな類	電気ショッカー	
		潜水観察	目視		
	魚道遡上調査	目視観察	魚道施設調査	遡上調査	
		標識放流	再捕調査	バイオテレメトリー調査	
		魚道内捕獲	網類	わな類	
	底生動物	定量採取	サーバーネット		
		定性採取	網類	わな類	ジョレン等
	植生	泥採取器機	手で捕まえる		
		植生図作成	群落組成調査		植生断面調査
	植物	写真撮影			
	植物	植物相調査	重要種調査		外来種調査
	鳥類	スポットセンサス法	集団分布値調査		
	両生類	目撃法	捕獲法		フィールドサイン法
	爬虫類	目撃法	捕獲法		フィールドサイン法
		わな類			
哺乳類	目撃法	捕獲法		フィールドサイン法	
	わな類	無人撮影器機			
陸上昆虫類	任意採取	ライトトラップ		わな類	
	目撃法				
プランクトン	採水法	ネット法			

【質問 5】 モニタリング活動の結果について教えてください

【質問 4】でお答え頂いたモニタリング活動から得られた結果についてお聞きします。

- ・水質改善、稚魚数増加、外来種減少等の変化(効果)の有無： ※あてはまるものを一つ選択して下さい。

変化（効果）の有無	確認できた	確認できていない	その他	複数あり
-----------	-------	----------	-----	------

- ・確認できた場合は、どのような変化（効果）が確認できたかを教えてください。確認できていない場合は、予想される原因等をご自由に記述して下さい。：

- ・モニタリング結果の活用の有無： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

結果の活用	結果を分析し活用している	活用できていない	その他	複数あり
-------	--------------	----------	-----	------

- ・モニタリング結果の共有（管理）方法や具体の活用方法について教えてください。：

【質問 6】 モニタリング活動全般に対するご意見をお聞かせください

- ・モニタリング活動の自己評価（5段階）： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

(1)関係者でモニタリング活動の目的を共有して取組めた。	5	4	3	2	1
(2)モニタリング活動が自分達の意識向上につながった。	5	4	3	2	1
(3)モニタリング活動が地域関係者の意識向上につながった。	5	4	3	2	1
(4)モニタリング活動を行うことで他の活動への参加者も増えた。	5	4	3	2	1
(5)モニタリング活動を通じて河川管理者との連携が深まった。	5	4	3	2	1
(6)モニタリング活動により専門知識・技術の向上が図られた。	5	4	3	2	1
(7)計画（想定）した精度のモニタリング活動を実施できた。	5	4	3	2	1
(8)モニタリング活動が河川環境の改善につながった。	5	4	3	2	1
(9)モニタリング結果を次の河川再生に向けた活動に反映できた。	5	4	3	2	1

※5段階： 5（満足）、4（やや満足）、3（そう思う）、2（やや不満）、1（不満）

・モニタリングを実施して役立ったこと、良かったことなど：

--

・モニタリングを実施する上での課題・苦勞： ※あてはまるものをすべて選択し、○をつけて下さい。

課題	①専門知識・技術	②調査精度	③結果の評価・活用	④活動資金
	⑤要員体制	⑥継続性	⑦関係者連携	⑧その他
具体記述	(その他を含め、上記で選択した課題・苦勞を具体的に記入して下さい)			

・今後予定しているモニタリング、新たに実施したいモニタリング等：

--

【質問7】 アンケート実施後の更なる協力に関するご意向を確認させていただきます

本アンケート調査の集計・分析結果を「河川再生に関わるモニタリング活動事例集（仮題）」で紹介させて頂く際には、個々の団体名は明かさず、匿名にて掲載させていただきます。

一方、この集計・分析結果とは別に、希望される団体について、各団体が取組むモニタリング活動の概要を、活動場所（地図で表示）や活動状況の写真とともに団体名入で紹介させていただきます。

この事例集への個別事例掲載（団体名入）に関するご希望をお聞きします。なお、希望された団体には、本アンケート実施後、一部追加情報や写真等の提供を改めてお願いさせていただきます。

・事例集への団体名入り掲載希望確認： ※あてはまるものを一つ選択し、○をつけて下さい。

事例集への個別事例掲載	希望する	希望しない
協力可能な場合のご連絡先 (後日改めてご連絡を差し上げます)	担当者氏名： 電話番号： Email:	
その他 (事例集掲載時のご要望等)		

【質問8】 その他

最後に、本アンケート調査に関連したご意見、ご要望等がございましたらご記入下さい。

(例：本調査全体について、PRAGMO 日本語版に対して、JRRN への期待 等々)：

アンケートは以上となります。ご協力、ありがとうございました。